



Cisco Unified Communications Manager Assistant

Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を使用すると、マネージャとそのアシスタントが効果的に協力して作業できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant は、プロキシ回線サポートとシェアドライン サポートの 2 つのオペレーション モードをサポートしています。どちらのモードも、マネージャ用の回線ごとに複数のコールをサポートしています。Cisco IP Manager Assistant サービスは、プロキシ回線サポートとシェアドライン サポートの両方をサポートしています。

Cisco Unified Communications Manager Assistant の両方のモードは、マネージャ用の電話機拡張機能、および主にアシスタントが使用するデスクトップ インターフェイスから構成されています。Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線サポートには、コールルーティング サービスが含まれます。

Cisco Unified Communications Manager Assistant がプロキシ回線サポートの場合、このサービスは、マネージャへのコールを代行受信し、事前設定済みのコールフィルタに基づいて、選択されたアシスタント、マネージャ、または他のターゲットにそのコールをルーティングします。マネージャは、コールルーティングを動的に変更できます。たとえば、電話機上でソフトキーを押して、すべてのコールをアシスタントにルーティングするようサービスに指示し、それらのコールの状態を受信できます。

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、マネージャとアシスタントがあります。Cisco Unified Communications Manager Assistant のプロキシ回線サポートのルーティング サービスは、マネージャ ユーザのコールを代行受信し、適切にルーティングします (Cisco Unified Communications Manager Assistant のシェアドライン サポートはルーティングをサポートしていません)。アシスタント ユーザは、マネージャの代わりにコールを処理します。Cisco Unified Communications Manager Assistant には、マネージャ用の機能とアシスタント用の機能が含まれています。

関連項目

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「シェアドライン サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」

